

第1回パークレンジャー養成講座

「公園のテーマ、理念を共有しよう！」講師：増田 昇



2011 年度パークレンジャー養成講座が始まりました。56 名の方々にご応募いただき、抽選の結果 40 名の方が当選しました。

1. 挨拶

大阪府岸和田土木事務所の服部工区長より挨拶がありました。



2. 自己紹介、グループ分け

「アイスブレイク」という緊張を和らげるゲームを通じて自己紹介とグループ分けを行いました。自己紹介は2人一組になり、握手をしたあとに名前、所属、趣味や最近気になっていることについて、紹介しあいました。グループ分けは、「バースディチェーン」というアイスブレイクを通じて行いました。言葉を交わさず、身振り手振りだけで誕生日順に並んでいただき、6つのグループに分けられました。



3. 自己紹介

グループ内で再度、自己紹介を行いました。名前、所属に加え、特技や養成講座に対する意気込みについて紹介し合いました。既にボランティア活動や緑に関わる仕事に携わっておられる方、初めてボランティア活動に参加される方等、様々な思いや立場の方々が集まっていることがわかりました。



4. 話し合いのルールを決めよう

この講座は、何度も受講生で話し合う機会があります。そこで、グループに分かれて話し合いのルールを決めました。

話し合いのルール

- ・全員が話す機会を持つ
- ・思いやりを持つ
- ・人の意見を否定しない
- ・みんなで決めたことや時間を守る
- ・話し合いの前に、テーマ、認識を全員で共有する
- ・人の話は最後まで聞く
- ・自分の意見を他人に押し付けない
- ・楽しく話し合い、心から傾聴する
- ・与えられたテーマからそれないようにしよう
- ・自分の意見を押し付けない
- ・みんな一丸となって話し合おう



5. オリエンテーション

パークレンジャー養成講座を行うにあたり、公園の概要や講座の概要、受講の約束等の説明がありました。受講の約束は基本的なことです。受講生全員が楽しく講座を受けるために必要なことをみんなで共有しました。



6. 講義

午後からは、大阪府岸和田土木事務所の窪田所長より、激励の言葉が贈られました。その後、は増田先生(大阪府立大学)による講義です。「みどり大阪推進計画」、「都市公園の役割」、「里地里山の保全」、「(仮称)泉佐野丘陵緑地の理念、テーマ、活動イメージ」、「泉佐野丘陵緑地の公園運営について」、「他の公園の事例」等についてお話いただきました。どの受講生の方も真剣でメモをとりながら先生のお話を聞いていました。



7. 閉会

最後に次回の案内を行い、アンケートをご記入いただき、この日のプログラムは終了となりました。

〈主な感想〉

- ・公園というと、きれいな花が咲き、子供たちが遊ぶ所と思っていましたが、今日の講義で公園のイメージが大きく変わりました。これから、いろいろなことを学びながら公園づくりに携わることが出来ればと思いました。
- ・公園の役割が多岐に渡ってあることを知り、やりがいを感じました。



第2回パークレンジャー養成講座 「公園を探索しよう！」

講師：川口 裕之



第2回パークレンジャー養成講座を行いました。この日は 36 名の受講生が集まり楽しく講義を受けました。

1. 前回の振り返り

はじめに、前回の内容を振り返りました。「話し合いのルール」や増田先生の講義内容を振り返りました。

2. 知恵の輪、キャッチボール、インタビュー

次は川口講師(NPO 法人 Kid's ぼけっと)によるロープやボールを使ったゲームプログラムです。ボールを使ったゲームプログラムは、円陣になり、渡す人の名前を言ってから、その方へボールを渡す内容です。2回目の講座ということもあり、まだお互いの顔と名前があまり一致していませんが、このゲームを通じて名前を覚えることができました。その後、「30cm 以上の魚を釣ったことがある人」や「テレビに出たことがある人」など、〇〇をしたことがある人、というテーマでインタビューを行う自己紹介ゲームを行いました。インタビューした内容は、最後に発表し合いました。パグをたくさん飼っている方がいたり、さまざまな所に旅行に行ったことのある方など、仲間の意外なプロフィールを知ることができました。



3. 健康度チェック

午後からはバスに乗って現地へ行きました。現地へ向かうバスの中では、「健康度チェック」を行いました。「枝ぶりのいい木があると、登りたくなる」などの 30 個の質問があり、あてはまる項目が多いほど、その人の「サル度」が高いというチェックでした。



4. たけのこニョッキ

現地では、あいにく雨が降ったため、郷の館で「たけのこニョッキ」というゲームを行いました。「1 ニョッキ!」、「2 ニョッキ!」と同じグループの人とかぶらないように、1から順番に数字を宣言していくゲームを行いました。



5. できること、できないこと、すべきこと、すべきでないこと

次に、グループで「できること、できないこと、すべきこと、すべきでないこと」について議論しました。

【できること】

- ・公園の存在や理念を広報する
- ・ハンディキャップのある人も楽しめる公園づくり
- ・散歩道のガイド、誘導
- ・公園の利用について説明
- ・ごみ拾い、清掃
- ・小学校とのコーディネート
- ・樹木、草花の手入れ

【できないこと】

- ・真夏、厳冬の作業
- ・夜間の管理
- ・重労働、過度の力仕事
- ・むやみに自然を壊すこと
- ・大掛かりな整備
- ・機械を必要とするもの
- ・危険な作業
- ・資格の必要な作業



【すべきこと】

- ・地域の良さを生かすこと
- ・体験できる場づくり
- ・意見を聞くこと
- ・利用する立場で考えること
- ・バリアフリー対策
- ・利用価値を高めること
- ・テーマ、考え方を常に確認すること
- ・自然との共生、共存

【すべきでないこと】

- ・強要すること
- ・自然を壊すこと
- ・自分勝手なこと
- ・約束を破ること
- ・園内に入る団体を1つに限定すること
- ・ゴミを捨てること
- ・利便性を重視した開発行為



6. 閉会

最後に次回の案内を行い、プログラムは終了となりました。

《主な感想》

- ・午後のディスカッションでは、府民の声を吸い上げて生かすという声が多く、まさにここが新しいスタイルの取り組みかなと思いました。
- ・コミュニケーションの重要性と楽しさを改めて感じる事ができました。「すべきでないこと」が、できてしまう自身の立場を常に心に持って今後行動していきます。



第3回パークレンジャー養成講座 「パーククラブを知ろう！」 講師：パーククラブ



第3回パークレンジャー養成講座を行いました。この日は38名の受講生が集まり楽しく講義を受けました。

1. 前回の振り返り

はじめに、前回の講座を振り返りました。講座を休まれた方や、今回から受講される方がいたので、第1回目の講座内容や話し合いのルール、「受講の約束事」も振り返りました。第2回の振り返りでは、「公園は自分ひとりだけのものではなく、みんなのもの。パークレンジャーとしてできること、すべきことを考えながら、みんなにとって居心地の良い公園づくりをしていく必要がある」という内容を振り返りました。

2. みんなでプロフィール集をつくろう

次に、より深く受講生同士が知り合うきっかけとして、受講生のプロフィール集をつくりました。単に自分のプロフィールを書くというのではなく、隣に座った人のプロフィールをインタビューしながら書くというものです。インタビューできる時間は限られたものでしたが、お互いのことを知り合うよい時間となりました。また、お互いの似顔絵も描きました。インタビューが終わったあとに、何組かに発表していただきました。みんなで協力してつくったプロフィール集は午前中の講座終了後に配布しました。時間があるときに確認してそれぞれのニックネームや性格を覚えましょう。



3. 講義:パーククラブを知ろう!

講義では、パーククラブの殿元日出夫会長に、「パーククラブの目的と活動」、「基本方針」、「活動日及び2011年度活動方針」、「過去1年間の活動報告」、「パーククラブの組織」、「今後の方向性」についてお話いただきました。パーククラブの活動風景のビデオや、会長の7つ道具の紹介などもあり、パーククラブの活動内容を説明していただきました。また、質疑応答でもパーククラブの活動内容や、不安に思っていることなど、受講生のみなさんから、たくさんの質問が出ていました。

4. 実習:現地散策

前回に引き続き、あいにくの雨模様でしたが、10班に分かれてパークレンジャーのみなさんに案内してもらいながら現地を散策しました。長い間、竹林に囲まれていたため、下枝がまったく出ていない樹木や、竹チップで整備した園路、棚田跡や、次々と生えてくる竹など、パークレンジャーのみなさんに解説していただきました。

5. パークレンジャーの思いを語る

散策の後は、『郷の館』に移動しました。「パークレンジャーの思いを知る」というテーマでパークレンジャーと受講生の皆さんがそれぞれ思いを語り合いました。パーククラブのメンバーは1人2分ずつ、パークレンジャーになろうと思った動機や実際に活動して得たことや、感じていること、ボランティアに対する考えなどを発表しました。「パークレンジャーの活動をはじめて、健康になった」という意見もありました。また、受講生のみなさんは1人1分ずつ、受講の動機や意気込み、自分の特技や趣味などを発表しました。パークレンジャーや受講生の思いをお互いに共有することで、よりパークレンジャーに対するイメージが具体的になりました。最後に次回の案内を行い、プログラムは終了となりました。

《主な感想》

- パーククラブの活動内容を詳しく知ることができ、今後進むべき方向性を確認できました。「全員の知恵と汗の結晶で成長」という表現がぴったりだと思いました。
- パークレンジャーの活動内容や苦労していること、廃材の利用など、生の声が聞けて良かったです。
- ボランティアの心得と労力の大切さ。本当のボランティアの意義等を感じました。



第4回パークレンジャー養成講座 「みんなで森を育てよう！」

講師：伊藤 孝美



第4回パークレンジャー養成講座を行いました。この日は 37 名の受講生が集まり楽しく講義を受けました。

1. 前回の振り返り

はじめに、前回の内容を振り返りました。

2. 「ニックネームを覚える」ゲーム

次に、自分のニックネーム、呼んで欲しい名前を考えました。ニックネームを考えた後は、3つのグループに分かれてみんなのニックネームを覚えるゲームを行いました。グループで輪になり、はじめの一人が自分のニックネームを隣の方に伝えます。次の人は前の人のニックネームを覚えておき、その人の名前と自分のニックネームを隣の方に伝えていきます。最後の人は全員の名前を覚えておかなければならないので、高い記憶力が求められます。難しいゲームでしたが、楽しみながら行うことができました。

3. 講義:森林生態系と里山及び里山管理の実際

NPO 法人自然と緑 副理事長の伊藤先生に「樹木生育の基本」、「日本の潜在自然植生」、「森林の機能」、「竹林の間伐方法」、「作業の安全管理」等についてお話いただきました。樹林の基本的な話から専門的な話まで、幅広くお話いただきました。



4. ○×クイズ

現地に向かうバスの中では、今までの講義内容や話し合いのルール、泉佐野丘陵緑地の4つの理念を振り返る○×クイズを行いました。

5. 準備体操

現地に着いてからは、まず、自己紹介を兼ねた準備体操を行いました。それぞれがニックネームを言いながら体操を行い、最後に誰がその体操をしたかを当てるゲームを行いました。しっかり体をほぐすことができました。

6. 竹の間伐体験

間伐作業を行う前に、伊藤先生からお手本となる間伐方法を教わりました。また、竹の成長年数の把握の仕方についても教わりました。その後、6つのグループに分かれて作業を進めました。どうすれば手際よく、安全に作業を進めていけるのかをひとつひとつ確認しながら作業を進めました。

7. 先生への質問

作業を通じてわからなかったことを伊藤先生に聞く時間を設けました。竹だけでなく、サクラやキンモクセイの生態、里山のことについてなど、たくさんの質問が出ました。みなさん熱心に先生の解説を聞いていました。

8. グッジョブカード

郷の館に戻り、グッジョブカードの交換を行いました。グッジョブカードとは、仲間同士でいい仕事をした方に贈りあい、感謝の気持ちを伝えるカードの事です。相手に面と向かって感謝の気持ちを伝える機会はなかなかありませんが、みなさん、さまざまな感謝の気持ちを伝えました。

9. 閉会

最後に次回の案内を行い、プログラムは終了となりました。

《主な感想》

- ・竹の年齢を知る手がかりや見分け方、害虫の駆除方法など、実習でも専門的な知識を知ることができた。
- ・専門的な講義で、あらためて自然がいかに厳しいかわかりました。パークレンジャーとして活動するにあたり、基礎の勉強が大事だと思いました。

